

施 設 長 殿

側方進入椎体間固定術の合併症のデータベース構築に関する研究  
に対するご協力をお願い

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会  
理事長 松山幸弘  
日本脊椎脊髄病学会新技術評価検証委員会  
理事 渡辺雅彦  
日本脊椎脊髄病学会新技術評価検証委員会  
委員長 細金直文

平素は、当学会の活動に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当学会では、脊椎・脊髄疾患の術中術後合併症に関する研究の一貫として、標記のデータベース構築を企図致しました。

構築されたデータベースは、新術式の安全使用や合併症予防目的のために活用されることが期待されます。したがって、本研究は社会的に極めて重要性が高いものです。そして、これらの研究が所期の目的を十分に達成することができるためには、できるだけ多くの医師ないし医療機関にご協力をいただき、より多くの症例に関するより正確な情報を収集する必要があります。

2017年5月30日に個人情報保護法が改正され、本研究ではトレーサビリティの書類が必要になりました。つきましては、データベースの構築に当たって、下記1及び2記載の要領で、各医療機関において本疾患の患者さんに対する診療の過程で取得し保有している試料または情報を当学会にご提供いただきたく、お願い申し上げます。

提供いただいた試料・情報については、下記3記載のとおり取り扱います。なお、試料・情報の提供に当たっては、下記4記載の事項にご留意ください。

本研究がもつ意義を十分にご考慮いただき、何卒ご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

本件についてご不明の点などがあれば、下記5記載の事務局宛てまでご連絡をいただければ幸甚です。

なお、当学会会員へは、例年通りEメールにて本調査の趣旨等案内しております。  
※このたびの施設長様および貴施設整形外科科長様への郵送と、当学会会員へのEメール配信にてお送りし、またホームページのアンケートページにはこのたびの調査に必要な書式等一式を掲載しております。

取り急ぎ、用件のみにて失礼をいたします。



### 3 提供いただいた試料・情報の取扱い

提供いただいた試料・情報については、事務局において特定の個人が識別されないよう匿名化をいたします。そのうえで、データベースに登録をいたします。

### 4 貴施設においてご留意いただきたい事項

試料・情報の提供に当たっては、貴施設において、倫理委員会による承認その他の所要の手続をお取りください。

なお、本調査を実施するにあたっては、当学会の倫理委員会の審議を経て、その承認が得られています。

### 5 事務局

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル（株）毎日学術フォーラム内

Email [maf-jssr@mynavi.jp](mailto:maf-jssr@mynavi.jp) Fax 03-6267-4555

※ご質問等には、委員会より回答させていただきますので、可能な限り E メールにてお問い合わせください

以 上